



2015年10月20日

アウディ ジャパン株式会社
プレス問い合わせ 03 - 5475 - 6309
<http://www.audi-press.info/>

お客様問い合わせ 0120 - 598 - 106
アウディコミュニケーション センター

第 44 回東京モーターショーにおけるアウディ スタンドの出展車両概略

アウディは、コンセプトカーの Audi prologue allroad のほか、近く日本でも販売されることになる新型 Audi A4 / A4 Avant をはじめ、新型 Audi Q7 e-tron、新型 Audi R8 V10 plus、新型 Audi S8 plus の各モデルを参考出品致します。また発表もないコンパクトスポーツモデル Audi RS 3 Sportback など、お客様の関心を集めているニューモデルが含まれています。

■参考出展モデル

・ Audi prologue allroad

Audi prologue は、コンセプトスタディの目的で開発を進めてきたモデルシリーズ。この prologue allroad は Coupe、Avant に次いで 3 番目のモデルにあたります。allroad の名が示すとおり、quattro フルタイム 4 輪駆動システムと高い地上高により、路面条件を選ばないオールラウンドな走行性能を備えていることが特徴です。また、ツインターボを装着した 4.0ℓ V8 エンジンと電気モーターを組み合わせたプラグインハイブリッドのドライブユニットを搭載しており、540kW (734PS) / 900Nm という強烈なシステムパワー / トルクを発揮して、0-100km/h わずか 3.5 秒の加速を実現する一方、燃料消費も低く抑えています。また純粋な EV (電動) モードで、最長 54km の距離を走行することが可能です。(諸元はコンセプトモデル参考値)

・ Audi A4 / A4 Avant

Audi A4 の新世代モデルです。従来どおりボディは Sedan と Avant の 2 タイプで、アウディらしい優美さとスポーティネスを兼ね備えたそのスタイリングは、クラス最高の Cd 値 0.23 (Sedan) を実現しています。ドライブシステムは、FWD と quattro フルタイム 4 輪駆動システムの 2 タイプ用意され、両仕様ともエンジンは 2.0 TFSI ユニットが搭載されますが、パワーは 140kW (190PS) と 185kW (252PS) の 2 種類を用意。従来比で燃費効率を大幅に改善し、あるいは出力を大幅に向上させました。(諸元は欧州モデル参考値)

・ Audi Q7 e-tron 2.0 TFSI quattro

新型 Audi Q7 をベースにしたこのモデルは、quattro フルタイム 4 輪駆動システムを採用した最初のプラグインハイブリッドカーです。外部から充電可能なリチウムイオンバッテリーを搭載することで、EV モードで約 50km の走行を可能にしています。TFSI エンジンと電気モーターを併用するハイブリッドモードでも優れた燃費効率を達成しており、トータルな航続距離は 1,000km を超えます。2.0 TFSI エンジンと電気モーターを併せたシステムパワー、トルクは、270kW (367PS)、700Nm に達し、大型 SUV であるこのモデルを、0-100km/h 5.9 秒で加速、最高速度は 220km/h です。(諸元はコンセプトモデル参考値)

・ Audi R8 V10 plus

Audi 史上もっとも速く、もっとも運動性能に優れたロードカーがこの新型 Audi R8 です。2006 年に初代がデビューして以来 9 年ぶりのモデルチェンジです。初代の技術的特徴であったミッドシップレイアウト、ASF (アウディスペースフレーム) による超軽量ボディ、自然吸気の V10 エンジン、quattro フルタイム 4 輪駆動システムなどは継承しつつ、すべての点で進化を果たしています。ボディは、従来からのアルミに加えて、乗員セルの主要部分に CFRP を用いることで、重量をさらに削減すると同時にボディ剛性を高めています。5.2 FSI エンジンは、449kW (610PS)、560Nm

を発揮し、新型 Audi R8 を静止状態から 100km/h までわずか 3.2 秒で加速、330km/h の最高速を可能にしています。（諸元は欧州モデル参考値）

・ Audi S8 plus

Audi S8 plus は、プレミアムセグメントでも最強レベルの 445kW（605PS）エンジンを搭載したスーパースポーツセダンです。アウディスペースフレーム（ASF）のテクノロジーに基づいて開発されたオールアルミのボディは、単体重量がわずか 231kg と、ライバルのどのモデルよりも軽量です。心臓となるツインターボ採用の 4.0 TFSI V8 エンジンは、通常の Audi S8 と比較すると 65kW（85PS）増強されており、通常 700Nm の最大トルクは、短時間であればオーバーブーストにより 750Nm が得られます。この高性能エンジンにより、Audi S8 plus は、0-100km/h を 3.8 秒で加速し、オプションにより 250km/h で作動する電子リミッターを外して、305km/h の最高速も可能にしています。（諸元は欧州モデル参考値）

・ Audi TTS Roadster

高出力エンジンと quattro システムを搭載した新型 Audi TT Roadster の高性能バージョン。搭載する 2.0 TFSI エンジンは 310PS。一方燃費は 14.5km/ℓ（換算値）と大幅に改善。内外装には特別なデザインが施されており、外装ではシングルフレームグリル、バンパー、サイドシル、ホイールなどが、内装でもシート、ドアトリム、ステアリングホイール、コンソールのデコラティブパネルなどが TTS 専用になっています。また、マトリクス LED ヘッドライト、最新のインストルメントクラスター「バーチャルコックピット」、減衰力をアクティブ制御する「アウディマグネティックライド」を標準搭載。3 層のソフトトップは 50km/h 以下であれば 10 秒以内で開閉します。（諸元は欧州モデル参考値）

・ Audi R18 e-tron quattro

世界耐久選手権（WEC）に挑戦してきた Audi のスポーツプロトタイプ。2012 年にデビューして以来ルマン 24 時間で 3 連覇を果たすなど大活躍をしてきました。毎年大幅な進化を遂げ続けており、今年のモデルも 2014 年型に対しエアロダイナミクスやハイブリッド機構などを改良しています。搭載する V6 TDI エンジンの出力は約 410kW（558hp）で、今年から 200kW（272hp）強に出力を増強させた電気モーターとともに、ハイブリッドのドライブシステムを形成しています。減速時に回生されたエネルギーはフライホイール装置にいったん蓄えられ、加速時に電気モーターに電力を供給して前輪に駆動力を発生させています。複雑な機構を備えるにもかかわらず総重量は 870kg に抑えられています。

■市販モデル

・ Audi S1

170kW（231PS）/ 370Nm を発揮する 2.0ℓTFSI エンジンと quattro フルタイム 4 輪駆動システムを採用した Audi A1 のスポーツバージョンです。マニュアル（6 速）仕様のみを設定です。エンジンの高出力化に対応して、サスペンションも大幅に強化されており、とくに後輪はシステムを 4 リンクに換えて運動面でのポテンシャルを高めています。また、専用の 18 インチホイールを装着したのに伴い、ブレーキディスクの径を拡大して制動力も高めました。そのホイールのほか、専用デザインのシングルフレームグリル、バンパー、アルミ調サイドミラーハウジング、合計 4 本の楕円形テールパイプなどにより、視覚的にも S モデルならではの躍動感が演出されています。

・ Audi RS 3 Sportback

コンパクトプレミアムクラスでもっともパワフルな 270kW（367ps）、465Nm を発揮するアウディ伝統の直列 5 気筒 2.5 TFSI（直噴ターボエンジン）を搭載し、0~100km/h 加速を 4.3 秒で完了する瞬発力を備えた Audi A3 シリーズの新しいハイエンドモデルです。ギヤボックスは 7 速 S トロニックで、駆動方式は quattro フルタイム 4 輪駆動システムを採用しており、2.5 TFSI エンジンのハイパワーも難なく路面に伝えられます。通常の A3 と比較すると車高が 25mm 低くなっており、トレッドもフロントで 25mm、リヤで 10mm 広がって、サスペンションも強化されてい

ます。デザイン面でも、シングルフレームグリルを始め、多くのエクステリアパーツが専用デザインになっています。

・ Audi RS 6 Avant

Audi A6 Avant をベースに、560PS の 4.0ℓ V8 TFSI (直噴バイターボ) エンジンを搭載し、0-100km/h 加速 3.9 秒というスーパースポーツカー並みの動力性能を実現した「世界最速水準のステーションワゴン」が Audi RS 6 Avant。駆動方式は quattro フルタイム 4 輪駆動システムを採用し、左右後輪のトルク配分を自在に制御するリヤスポーツディファレンシャルを追加することで、卓越したトラクション性能と回頭性を両立。また、アウディが独自開発した DRC (ダイナミックライドコントロール) システムによりボディの余分な動きを最小化。本格スポーツモデルの名にふさわしいハンドリング性能を堪能できます。トランスミッションは 8 速ティプトロニックで、10.3km/ℓ (JC08 モード) と優れた燃費も提供します。